

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	127	旧町村電算システム管理経費	会計	10	一般会計
基本施策	99		款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	09	情報化推進費
担当部課名	伊賀支所総務振興課		細目	102	地域情報化推進経費
作成者氏名	中島義文	連絡先	細々目	04	旧町村電算システム管理経費

事業の計画・内容

	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	電算システムや機器の保守管理	情報セキュリティを遵守しながら、迅速で便利な電子市役所を構築できる。
本年度事業内容	旧伊賀町時に(株)松阪電算に財務会計システム等の保守契約を結んでいた。合併後は、新システムと旧システムを数ヶ月間平行稼動する必要があった。これによりスムーズに新システムに完全移行を行えました。	
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0
	人件費合計(A)	720	720	0
②支出内訳(千円)	事業費(B)	612	673	0
	委託料	438	341	
	使用料及び賃借料	174		
	需用費		332	
	その他			
合計(A+B)		1,332	1,393	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,332	1,393	0
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
旧財務会計システム保守	千円	612	0	0
流用端末パソコン	台	0	22	0

情勢の変化及び事業の改善点等

- ・平行処理の事務が終了し、電算処理が1本となりました。
- ・パソコン処理速度が、「参声広場」等の導入や「例規類集」の充実等により遅くなった。

評価	達成度	4	決算事務等がスムーズに処理できました。また、平成18年度より、支所グループウェア流用パソコンについては、支所総務振興課で一括管理することになりました。
	効率性	4	